

今、この人に **Interview**

通訳・翻訳業(英語・タガログ語) **山本グレイス**さん

自分の経験からも 外国の方のコミュニティーの窓口になって 暮らしの支援をしていきたい。



■大学では心理学を専攻されていた ということですが、なぜ歌手を？

歌手はあくまでも趣味で、昼間は事務職をしながら晩にお店で歌っていました。小さい頃から歌が好きだったんです。

■日本に来てからの生活は？

フィリピンで知り合った日本人と結婚し、2005年に日本に来た時は上の子どもが小学3年生で下の子どもが幼稚園でした。子育てで大事な時期でもあり、言葉がまだ通じないということと、昔からの古いまちで町内会との付き合いも大変でした。

■日本語は独学になりますか？

そうですね。子ども達は日本の学校での生活時間が多いので、反対に母国語のタガログ語が話せなくなってしまふほどでした。私は市が実施している日本語教室に参加しましたが、夜の時間帯で子ども達のことを考えると数回しか参加できませんでした。ご近所との付き合いでなんとか話せるようになりました。

■通訳の仕事の前に介護のお仕事を されていたということですか？

下の子どもが小学校に入学したら仕事をしようと思っていました。ホテルの食事の盛りつけの仕事から始め、次にパン工場で働きました。そもそもフィリピンでも介護の免許を取って日本で働こうと思っていました。フィリピンでの勉強の途中で来日したので、再度挑戦したいと思い、介護の資格取得のために勉強をしました。ただ、日本語は話せても漢字が分からなくて授業についていけませんでした。私だけ宿題をもらい、夜中の2時まで勉強し8時半に学校に行く生活でした。

■現在の通訳のお仕事へのきっかけは？

念願の介護の仕事に就き、希望の病院にも勤めましたが、以前、交通事故で痛めていた腰が悪化し半年で辞めることとなりました。それでハローワークに行ったところ、紹介のあった滋賀県多文化共生地域づくり支援センターで通訳として働くことになりました。母国語のタガログ語と英語ができましたので、外国の方の生活相談に対応し、2年8ヶ月勤めました。1年で4000件も相談に乗りました。

■2010年に「フィリピンコミュニティー」を立ち上げたのはこうした生活相談がきっかけですか？

各地域にバラバラにフィリピンコミュニティはあったのですが、県内一つになれるコミュニティとして、皆んなが情報を共有するために立ち上げたんです。主に多文化フェスティバルや市町でのイベントに積極的に参加することで、他の国の人と友達になれるし、仕事にもつながると思ったからです。その他、暮らしの中で困っていることを聞いて、行政書士さんや弁護士さん等に相談しに行くようにアドバイスする外国の人の窓口になればと思っています。

■昨年の暮れに事務所を大津から 甲南に移し、新しい事務所でお仕事 を始められたということですが、 滋賀の暮らしはどのようにですか？

田舎育ちなので滋賀は実家に似ていて、ゆったりした場所なので落ち着きます。今後は予約制のレストランやインバウンド向けの民泊も出来ないかと考えています。これも外国人とのつながりを強くしたいからです。天から与えられたものは一人のものではなく、皆んなに分け

● プロフィール ●

フィリピン出身。大学で心理学を専攻。家庭の事情により中退し、就職して事務職をしながら副業で歌手としても働く。日本人と結婚後、来日、介護の資格を取得。その後通訳の仕事に転職。県教育委員会の母国語支援員や甲賀市役所で働き、現在、公的機関などで通訳や翻訳の仕事をする。また、フィリピンコミュニティの立ち上げやボランティア活動にも積極的に取り組んでいる。

◇ 問い合わせ先

Yamamoto Inter-Trans

甲賀市甲南町野田824-2
TEL:080-8346-2100

るべきだと思っているので、私の経験からも日本語ができない外国人がいたら助けたいと思っています。日本に来て言葉を含めいろいろ苦労しましたが、10人中9人には優しくしてもらいました。だから今も日本で暮らしています。

■歌手や介護士、通訳などに挑戦し 有言実行のグレイスさんですが、 今は何に挑戦中ですか？

私は「やりたいことは諦めることはない」という生き方でここまで来ました。今は通信講座で行政書士の資格を取るため勉強をしています。フィリピン人の帰化申請の手続きが大変なんです。外国人の申請にかかるお金の負担を減らすためにも私が免許を取って皆んなの役に立ちたいです。それと今はスペイン語に挑戦中です。タガログ語と似ているんですよ！